

白鶴酒造
研究開発室副主任

山崎旭氏

酒や酒かすを原料とする化粧品事業に7年前から取り組む白鶴酒造(神戸市東灘区)。通信販売を中心にリピーターを増やし、ここ数年も2〜3割程度の伸びが続いているという。研究開発室副主任の山崎旭さん(33)は「全社の売上高に占める割合はまだわずか。でも、将来は社の柱の一つに育てたい」と意気込む。

派手な広告を打たず、ホームページで紹介している



自然由来の化粧品 主要事業の一つに

程度だが、30歳代以上の女性を中心に口コミで支持を広げた。「自然由来という点で安心して長く使ってもらえている」と分析。

数年前からは、新産業創造研究機構や神戸大などと共同研究を始めた。肌荒れを起こしにくい成分を酒かすから抽出する。科学的データに基づき有効性を立証した上で、「2013年には新ブランドを立ち上げ、クリームや化粧水などを製品化するつもり」と、夢を広げる。(佐伯竜二)

